

【相談受付件数 R5年4月～12月】

法人本部に寄せられた相談の詳細（総数117件）

- ・身寄りがなく身元保証人等に困っている… 33件
- ・住む場所がない…68件 ・お金の管理が難しい…10件
- ・罪を犯して生活に困っている…7件・医療同意について…5件
- ・どこに相談したら良いか分からない（関係機関紹介）等…58件

【総合相談部門より】

昨年7月に秋田を襲った豪雨災害により、住居にお困りの方のご相談が数多く寄せられました。また、身寄りがなく身元保証人等にお困りの方も多かったのですが、関係機関との連携によりスピード感をもって対応することが叶いました。



story cat 新商品のご紹介



story cat オリジナルカレー

魚とたっぷりの野菜が入った『オニキス君カレー』が絶賛販売中です！キッチンカーでも大人気の当商品、ぜひお試しください😊春には、中辛だけでなく、甘口バージョンも販売予定です。どうぞお楽しみに！



酒類の販売を開始しました

福島のいわきワイナリー様と岩手県のアールペイザンワイナリー様から、ワインとシードルを仕入れて販売しています。今後は、ビールの取り扱いも予定しています！贈り物としても喜ばれています



特定非営利活動法人
あきた結いネット
〒010-0973
秋田市八橋本町3-20-21
TEL 018-874-8897
発行担当者：伊藤 康子



さくら咲く令和6年1月号

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

昨年は7月に起きた秋田豪雨の復興支援に取り組んだことが、法人にとって大きな財産となりました。法人設立から10年、ホームレス支援をベースに生活困窮者支援や住宅確保支援に取り組んできた実績、ノウハウが被災者支援にとっても役立ちました。発災直後は水や食料品、被災家屋の片付けに必要な掃除道具などが不足し、会員の皆様をはじめ全国の団体、個人の皆様から沢山のご支援をいただきました事、心より感謝申し上げます。皆様のご支援のおかげで被災された多くの方の生活再建をサポートすることが出来ました。本年も引き続き復興支援に取り組んでいく所存です。

また、これまで本部、各事業所などは賃貸物件を活用しており、不動産取得はしてきませんでした。休眠預金事業の採択を受け秋田市桜に3階建ての物件を購入いたしました。家賃等の固定費が削減できることで収益性も上がり、より法人の活動が安定的に継続できる道筋が作れたように思います。

本年も社会課題へ真摯に向き合い、新たな事業に取り組みながら地域に貢献していきたいと考えております。引き続きのご支援ご鞭撻の程よろしくお願いいたします。

特定非営利活動法人あきた結いネット
理事長 坂下 美涉



休眠預金事業 2022年度コロナ枠
 コロナ禍の住宅困窮支援事業2の助成を受け、
 安心住まいと『働く居場所作り』まるごとプロジェクトを
 実施しています！

休眠預金事業とは

「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律」(休眠預金等活用法)に基づき、2009年1月1日以降の取引から10年以上、その後の取引のない預金等(休眠預金等)を社会課題の解決や民間公益活動の促進のために活用する制度です。

不動産取得

秋田市桜二丁目24-2



建物名称

story cat+

ストーリーキャットプラス



【story cat+事業内容】

- ①障がい者グループホーム定員5名
- ②女性受入用緊急シェルター2室
- ③就労訓練用厨房設備
- ④物資庫(災害時対応)
- ⑤キッチンカー導入

1つの建物で住まいの提供と就労訓練を行うことができる複合施設です！
 厨房は営業許可を取得しお弁当製造を行う予定です。

<住居部門 管理者 伊藤千春>



住む場所と働く場所の確保により、多くの方々の暮らしがより良いものになると感じます。これまで以上に皆で協力しながら、意欲的に業務に取り組んでまいります！

秋田豪雨復興支援について



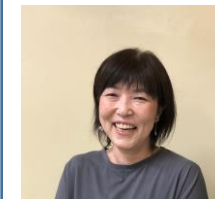
秋田豪雨発災直後から
 秋田市南通の
 『story cat』を
 復興支援拠点として
 活動を継続しています！



全国からたくさんの支援物資、支援金、ボランティアが集まりました。秋田を応援してくださる方の多さに感動の涙が溢れました。元旦に発生した能登半島地震で被災された方に対しても私たちに何が出来るか考え行動していきたいと思えます。

【毎週土曜日に行ってきた炊き出し】

早朝3時には調理作業を始めて、約400食分のお惣菜を作るのはとても大変な作業でしたが、カレーライス、きりたんぼ鍋という単品のメニューではなく、こんな時だからこそ好きなものを選んでもらいたい。AAR JAPAN様から炊き出し費用のご支援をいただき、30種類以上のメニューを準備しました。受け取る時の被災された皆さんの嬉しそうな表情は忘れることが出来ません。お手伝いくださった皆さま、ありがとうございます。



就労部門
 管理者
 高橋 志子

昨年7月の秋田豪雨の被災者支援では、全国の災害復興支援団体の皆様からたくさんの支援物資とご協力を頂き story cat を拠点として活動を行うことができました。現場で『今、必要としている支援は何か』お話を伺い、『少しでも前に進む力になれば』という想いで、迅速な対応を今後も心掛けてまいります。